

えがお

嘉麻市社協だより

No.155

発行日/2019.1.1

ぬれません♪

すごい！

～平第一ふれあいサロン～

わくわくマジック&
ピザづくり



社会福祉法人 嘉麻市社会福祉協議会

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 稲築住民センター内

TEL 0948-42-0751 <http://kama.syakyo.com>
FAX 0948-83-8005 info@kama.syakyo.com

<https://www.facebook.com/kama.swc>



社会福祉法人
嘉麻市社会福祉協議会
会長 村上 曙生

新春を迎えて

新年、あけましておめでとうございます。

みなさまにおかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、本会の活動に多大なるご支援ご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

さて、本会は合併以降、独自事業の開発実施はもとより、行政からも配食サービスや生活支援体制整備事業、生活困窮者自立支援事業などを受託し、本市の福祉施策の推進と、市民の福祉向上の一翼を担つてまいりました。

しかし、本会の法人運営は介護保険制度改正による訪問介護事業等の介護報酬の減収が大きく影響し、財政基盤や職員体制の立て直しが喫緊の課題となっています。また、平成32年4月の市役所新庁舎の移転に伴って、現在使用している稲築住民センターは使用できな

くなるため、事務所の移転も遅滞なくすすめていかなければなりません。

一方、社会福祉の動向に目を轉じると、平成29年4月1日から改正社会福祉法が施行され、我が

事・丸ごと「地域共生社会」の実現に向けた動きが本格化します。制度や分野ごとの「縦割り」や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我が事」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて、「丸ごと」つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会が求められています。

そのため、「誰もが安心して暮らせる地域づくりの実現」を標榜する本会としてもその一翼を担う大きな役割があると思っています。

このような認識のもとに、本会は今年も市民のみなさまをはじめ、行政等からの負託に応えるべく、役職員が一丸となつて努力してまいる所存ですので、なお一層のご支援ご協力を賜りますよう、お願ひ申し上げます。

最後になりますが、みなさまのご多幸とご健勝をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



今月のブログ

下臼井西自主防災会 研修会

2018年11月25日(日)

下臼井行政区で自主防災会研修会が初めて行われ、38名が参加しました。

嘉麻市防災対策課から、避難情報の収集手段や市から発令される避難情報のレベルについて話がありました。

また、下臼井行政区の土砂災害警戒区域と浸水想定地域を地図で確認したのち、心肺蘇生やAEDの使用、消防器訓練を体験しました。

参加した方々は、初めての心臓マッサージや気道確保に悪戦苦闘しながら、いざという時に備えて動作を一つ

ひとつ確認しました。「思ったより力がいるっちゃね」「いつ誰が倒れても安心やね」と、冗談をまじえながらも、「AEDはどこに設置してあるの?」と、真剣な質問も飛び交いました。



本会では、日々の活動を紹介したり、いろいろな福祉情報を素早くお届けしたいという思いから、ホームページで、日記『嘉麻市社協のブログ』を書いています。そこから抜粋してきた記事をご紹介します。

<http://kamasyakyo.sakura.ne.jp/wp/>

鳥栖市社会福祉協議会が視察に来られました

2018年11月20日(火)

鳥栖市社会福祉協議会から16名が生活支援体制整備事業の視察に来られました。

福岡県生活支援コーディネーター養成研修でも講師を務める本会の木山事務局長から、この事業は、ただサービスを作るのではなく、地域づくりをすることが大切である。高齢化をマイナスに捉えるのではなく、幸齢化と言える地域を作っていくため、自助・互助・共助・公助に加えて(互)近助という地域のつながりが必要であると説明しました。

また、鳥栖市と嘉麻市の昼間人口比率を比較し、災害を想定した地域づくりや地域の集まりでは、その地域の良いところに着目した明るい話し合いを行なつて行なつて、いることを伝えました。



買い物の方法が増えるといいけな ～あつとふるやまだ～

山田校区では、住み慣れた地域で暮らしていくために、自分たちの困りごとや気になることを話し合い、解決に向けた仕組みづくりを考える協議体「あつとふるやまだ」を、毎月開催しています。

そのなかで、買い物に困っている人が多いとの声が上がり、協議体のメンバーは、住んでいる地域で買い物について聞き取り、生活支援コーディネーターは、公民館や集会所を回って、生活するうえでの困りごとを尋ねました。

食材や日用品、衣類などは毎日の生活に欠かせないため、離れて暮らす家族に買って来てもらったり、宅配サービスを利用したり、タクシーやバスを利用してまとめ買いをするなどし、何とか揃えていることがわかりました。また、「交通費が家計を圧迫している」「まとめて買うと、商品を持ち帰るの

がたいへん」「本当は、自分の目で見て商品を選びたい」との声が多く聞かれました。

そこで、移動販売が実施できないか、嘉麻市商工会議所や地元の商業団に相談したところ、市内のコンビニエンスストアの協力が得られるようになり、まずは、3つの行政区で実施に向けた意見交換会を行いました。

実際に困っている人の顔を思い浮かべながら、曜日や時間、場所を考えました。「本当に困っている人が、来てくれるだろうか」「長く続けてもらうためには、売り上げの貢献も必要だよね」と、行政区長さんたちの心配な思いも語られました。

一人でも多くのみなさんの声を聞くため、A行政区ではアンケート調査を行い、B行政区ではお試しで移動販売を実施し、C行政区では困っている高齢者の方の話を聞くことにしました。

行政区それぞれの方法で、移動販売への実施に向けた新たな一步がスタートしました。

買い物だけではなく、生活するなかで気になることや困りごとを抱えている方、また困っている方をご存じの方は、本会へご相談ください。

嘉麻市社会福祉協議会
42-0751



あつとふるやまだ

- 1月15日(火)13:30～ 白馬ホール
2月19日(火)13:30～ 山田活性化センター
3月19日(火)13:30～ 山田生涯学習館

健康は毎日の食事から

山野第一行政区



11月14日、山野第一公民館で開催された「男性料理教室」におじやましました。この教室は、食生活改善推進会と地域福祉部が、男性にも料理を通して健康について考えてほしいと、20年ほど前から毎年1回開催しています。

この日のメニューは、むね肉を使ったチキンソテーのキノコクリームソースかけや具だくさんでした。



女性は、アドバイスをするだけで、実際に料理をするのは9名の男性です。普段は手にしない包丁やフライパンをもつて、慣れない作業に四苦八苦。「こんな感じでいいですか?」と、心配そうに焼き加減や盛り付けを確認していました。

テーブルには、彩の良い料理が並びました。参加した方は、「これまで、できあいのおかずに頼っていたが、栄養のバランスを考えて手作りの一品を添えたい」と話され、食生活を見直す機会となりました。

琴平公園では、毎週土曜日の午前に、昭嘉団地グランドゴルフサークルのメンバーが集まって、グランドゴルフを楽しんでいます。このサークルは、健康を維持するだけではなく、団地のみなさんが集まって楽しく過ごせる場を作りたいと、平成30年10月からスタートしました。



勝ち負けにこだわらず、みんなで楽しめるように得点はつけません。立てているホールにボールが入るよう、距離によつて強さを加減しながら順番に打つていきました。メンバーの1人は、

さんの豚汁、塩昆布で和えたキヤベツなど、カロリーや塩分を抑えたメニューです。女性は、アドバイスをするだけで、実際に料理をするのは9名の男性です。普段は手にしない包丁やフライパンをもつて、慣れない作業に四苦八苦。「こんな感じでいいですか?」と、心配そうに焼き加減や盛り付けを確認していました。

琴平公園では、毎週土曜日の午前に、昭嘉団地グランドゴルフサークルのメンバーが集まって、グランドゴルフを楽しんでいます。このサークルは、健康を維持するだけではなく、団地のみなさんが集まって楽しく過ごせる場を作りたいと、平成30年10月からスタートしました。

琴平公園では、毎週土曜日の午前に、昭嘉団地グランドゴルフサークルのメンバーが集まって、グランドゴルフを楽しんでいます。このサークルは、健康を維持するだけではなく、団地のみなさんが集まって楽しく過ごせる場を作りたいと、平成30年10月からスタートしました。

行政区内には、一人暮らしの高齢者もたくさん住んでいます。人と話す場になればと思い、参加を呼びかけています。将来は、グランドゴルフ大会を開催し、地域全体で楽しめるような場になればと考えています」と、今後の目標も教えてもらいました。

みんなで楽しく昭嘉団地グランドゴルフサークル



地域を元気に ~江星いきいき元気会~

11月20日、江星集会所で行われたサロン「江星いきいき元気会」におじゃました。

江星団地は、45年ほど前に笹原炭鉱住宅の跡地に建てられ、当時から住んでいる方もおられるそうです。

サロン代表の糀井輝久さんは、103歳になるお母さんと2人暮らしです。毎日、健康づくりのため散歩をしていて、ご近所同士の会話が減っていることに気づきました。そこで、自ら積極的にあいさつするよう心がけたことで、徐々に仲間が増え、今では地域の方と一緒に散歩やあいさつ運動を推進しています。

また、昨年から集会所で茶話会をするようになりました。その後協力してくれる方と一緒に他のサロンを見学して、4月から「ふれあい・いきいきサロン江星いきいき元気会」が立ち上がりました。毎月1回開催

し、出前講座や地域の困りごとの相談を受けたり、子どもとの交流会などを企画しています。

参加した方の中には、サロンで仲良くなれたのをきっかけに、お互いの家を訪ねたり、一緒に出かけたりしている方もいるそうです。糀井さんは、「仲間が増えるとともに楽しくなると思う。たくさんの人々に来てほしい」と話されました。



今月のえがお

最近笑顔になった出来事を教えてください

散歩中のお二人に出会い、元気の秘訣を伺うと「毎日、笑顔でいること、感謝することだよ」と話されました。



ありま　あいこ
有馬 愛子 さん

11月27日で91歳になりました。

当日は伊藤さんと一緒にケーキを食べてお祝いしました。
元気に誕生日を迎えて、うれしかったです。



いとう
伊藤 ハルエ さん

毎日、有馬さんと一緒に散歩しています。散歩をしながら、景色を眺め、ご近所さんに笑顔であいさつして会話を楽しんでいます。





かまボランティア・市民活動センター情報



平成29年に発生した九州北部豪雨では、東峰村に全国からたくさんのボランティアがかけつけました。

旧大隈小学校に宿泊していたボランティアさんが市内のコンビニでおにぎりやお弁当を買つていると聞いた地域の方が何かできることはないかと思い、地元の有志のみなさんと食事を提供しました。そのことをきっかけに、代表の榎ひろ子さんは、食事を通した交流の場を作りたいと考え、平成29年11月から月1回

嘉穂ふるさと交流館でカレーを提供するようになりました。

地元の方や近所で働く人、高齢者施設の方などが来られ、「元気にしてた?」「顔が見られてうれしいよ」と、会話も弾んでいます。

榎さんは、「カレーの日が、外に出かけるきっかけになつたり、新たな居場所につながることを願っています。お客様としてだけではなく、ボランティアとして一緒に活動してくださる方も募集しています」と、話されました。

カレーがつなぐ縁 （嘉穂ふるさと交流館）

ボランティア募集情報

駅伝ボランティア の募集

県内の子どもたちが学年や勝ち負けに関係なく楽しく走る、ふくおか子ども駅伝in嘉麻が開催されます。

この大会の、運営をお手伝いしていただける方を下記のとおり募集しています。

記

日 時 平成31年2月17日(日)8:00~15:00

集合場所 山田生涯学習館(嘉麻市上山田1347-10)

活動内容 テントの設置、コース運営など

募集締切 平成31年1月18日(金)

備 考 屋外の活動のため、防寒対策をお願いします。

特別養護老人ホームでの 話し相手

特別養護老人ホームたちばな苑では、入居者の話し相手やレクリエーションのお手伝いをしていただける方を下記のとおり募集しています。

記

日 時 月~土曜日 9:00~17:00
※活動可能な日、時間帯でかまいません。

場 所 特別養護老人ホームたちばな苑
(上山田818-18)

内 容 入居者の話し相手、
レクリエーションのお手伝い

備 考 動きやすい服装でお願いします。



お問い合わせ / かまボランティア・市民活動センター 0948-42-0751



母の老い方 観察記録



著者 松原 憐子さん
発行所 株式会社 海竜社

大学卒業と同時に家を出でて、自立した女性として生きてきた著者の松原さん。老後は猫と一緒に充実した生活を送るつもりでマンションを購入しましたが、漏水により引っ越しが余儀なくされました。一時避難のつもりで猫を連れ、65歳で母親が一人で住む実家に身を寄せました。

また、母親の生活を観察しながら、松原さんが感じた人それぞれが持つている価値観の違いや人と付き合っていくうえでの距離感の大切さ、元気で老いるための工夫が書かれています。

親子ならではのあっけらかんとした表現に、ハラハラさせられるところもありますが、素敵に生きるためにヒントが詰まっています。

(おがわ)

松原さんは71歳になり、気がつくと母親は92歳、つれ猫13歳に。第1章は、「こんなに早く家族全員が高齢者になると」というタイトルから始まります。オシャレやお出かけが大好きで、総入れ歯だけど牛肉が好き。素敵な友達に囲まれて、どこに行つても人気者。そんな風に、素敵に年齢を重ねた母親を「妖怪」と表現しています。

漆生にお住まいの三浦照子さんから、西田炭鉱（鴨生）の住宅で生活していた頃の話を伺いました。

当時、三浦さんが住んでいた住宅には水道がなく、10軒あたりに1ヵ所設置された水道からバケツに水を汲み、台所の水がめに入れていました。冬になると氷のように冷たい水で洗濯するのは辛かつたため、1日に何枚も使う赤ちゃんのオムツは、母親から作り方を習い、浴衣の切れ端やネル生地で作り、たくさん準備していました。

この写真には、ご主人の金光さん（前列右）と、一緒に働いていた方が写っています。撮った場所は不明ですが、炭鉱時代の写真はこの1枚しか残っておらず、毎日ご主人に「いつてらっしゃい」と見送った日々を思い出し、今まで大切に保管しているそうです。



炭鉱の記憶

No.142

2月の総合相談

法律相談

とき: 2月7日(木) 13:00~16:00
ところ: 山田ふれあいハウス

※法律相談は予約が必要です。先着順となって
いますので、お早目にお申し込みください。



心配ごと相談

とき: 2月13日(水) 13:00~15:00
とき: 2月27日(水) 13:00~15:00

※心配ごと相談の会場はいずれも
稲築住民センターです。

山田ふれあいハウスからのお知らせ

山田ふれあいハウスで行われている、木目込み人形教室むつみ会の作品を下記の期間展示しますので、ぜひご覧ください。



木目込み人形教室の作品

記

展示期間 平成31年1月21日(月)~1月31日(木)
場所 山田ふれあいハウスホール
時間 午前9時~午後5時まで

連絡・問い合わせ先／山田ふれあいハウス
嘉麻市上山田502番地6 TEL 0948-52-1847

成年後見 Q&A

Q

成年被後見人の施設入所の契約で、身元保証人、身元引受人、連帯保証人のサインを求められました。成年後見人はこれらに就任すべきですか？

A

成年後見人としての本来の目的は「財産管理」の中で入所費用の支払いをし「身上監護」の事務を行うことであるため、原則として就任すべきではありません。入院保証人就任を依頼された場合に関しても、上記のような理由から、緊急連絡先としての対応をする旨や施設利用料が滞りなく支払われること、身上監護の事務を行うことを説明し、就任を避けることが望ましいです。

意しております。
お斎等は、パド
ドゥル・コトブキ
の本格料理をご用
意しております。
また、当会館の
家族葬にあわせ
たプランもご用意
し、スタッフが心
を込めてお手伝い
いたします。

飛鳥会館でご葬儀をされるご家族のう
ち、8割の方が事前相談に来館されていま
す。葬儀に関する疑問、予算等気兼ねなくお
尋ねください。



飛鳥会館 南斎場

指定葬祭場紹介

嘉麻市漆生298-1
☎ (0948) 42-4241

嘉麻市社会福祉協議会指定葬祭場は、飛鳥会館 南斎場を含め、市内に7ヶ所あります。

きど葬祭やまさ碓井斎場……………☎ 62-4499
いすや会館……………☎ 57-4444
セレモニーホールおおつか……………☎ 52-1212

かほ葬祭 あじさい会館……………☎ 62-5566
善光会館 稲築会場……………☎ 83-5000
おかむら葬祭岡村会館……………☎ 42-4420

ふるさと私
私は山田高校を卒業してす
ぐに就職のため北九州市に転居し、その後結婚して、現在は中間市に住んでいます。私の学生時代は、炭鉱が少しづつ斜陽化していましたが、町はまだまだ活気があり、朝の登校時間には山田駅にたくさんの人
が降りて来て混雑するなかを学校へと急いだものです。

ふるさとと言えば私はいつも姉を思い出します。姉は結婚して旧嘉穂町に住んでいたので、よく遊びに行っていました。姉の家の裏には小さな川

が流れています。そこには、水仙や菖蒲など、様々な花が咲いていました。春になると、河岸には桜の木があり、とても美しい景色でした。

私は山田高校を卒業してす
ぐに就職のため北九州市に転居し、その後結婚して、現在は中間市に住んでいます。私の学生時代は、炭鉱が少しづつ斜陽化していましたが、町はまだまだ活気があり、朝の登校時間には山田駅にたくさんの人
が降りて来て混雑するなかを学校へと急いだものです。

嘉麻市からこんな偉大な人が輩出され、また自然にも恵まれ、我がふるさとは本当に誇れるものがいっぱいです。ふるさとを離れても私の心はふるさとに向いています。

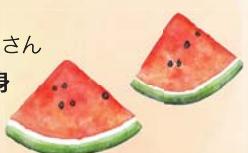
ふるさと私



中間市鍋山町在住

おおくぼ まさみ
大久保 政美さん
旧山田市出身

ふるやまとくの手紙
No.155



が流れていて、野菜を洗ったり、夏はスイカを冷やしたり、本当に自然を満喫したものでした。高校時代には仲良しの友人と二人で古処山に登りました。今となつては懐かしい思い出です。

ところで、先日は山田高校出身のつかここうへいさんの生誕70年の企画展が夢サイトかほで行われ、私もさつそく出かけました。つかここうへいさんは山田高校の新聞部だったそうで、やはり親近感を持ちワクワクした実は私も新聞部だったので、ようへいさんの同級生の方々の尽力で、素晴らしい企画展でした。

編集後記



(おがわ)

「あっとふるやまだ」で話し合ってきた買い物の仕組みづくりは、コンビニエンストアの協力が得られるようになりました。まずは、3つの行政区で実施に向けた話し合いを行いました。



(ふじい)

カレーの日には、100名を超える人が集まり、食事を楽しめていました。次回は3月中旬頃に予定され、楽しみにしている方もいらっしゃいます。



(いとう)

男性料理教室には、初めて参加したという方も多いですが、包丁の扱いに慣れず戦慄していましたが、野菜たっぷりのおいしそうな料理ができ上がりました。



(うちだ)

江星団地では、できることからはじめようをスローガンに、あいさつ運動やサロン活動に取り組まれています。地域を元気にしたいという熱い思いを感じました。



(やました)

表紙のピザは、内側にアルミ箔を貼った段ボールの窓で焼いたものです。みなさん興味深げに、「めずらしいね、作り方を教えて」「もらって帰ってもいい?」などの声が飛び交っていました。



(やひろ)

成年後見Q&Aでは、日頃の業務の中で疑問に思ったこと、学んだこと、お伝えしたいことを取り上げています。参考にしてください。

社協だよりクイズ



「広報紙えがお」を読んで、次のクイズにお答えください。正解者の中から抽選で図書券(千円分)、ポストカードセット(4枚組)をそれぞれ1名の方にプレゼントします。

問題

山田の協議体「あっとふるやまだ」では、買い物の方法を増やすため、何の実施にむけて活動しているでしょうか?

(1) 移動販売 (2) 通信販売 (3) 先行販売

●応募方法

①クイズの答え、②広報紙の感想、③郵便番号・住所、④氏名、⑤年齢、⑥電話番号をご記入の上、平成31年1月31日(必着)までにハガキ、またはEメールにてご応募ください。

●送付先

〒820-0205 嘉麻市岩崎1143番地3 嘉麻市社会福祉協議会

E-mail:tiiki@kama.syakyo.com

●前号のクイズの答え

(2) 交通体系

10月19日、夢サイトかほで開かれた平成30年度第2層協議体全体会では、嘉麻市役所地域活性推進課から交通体系の見直しについて話がありました。

●応募のあった方から社協だよりの感想をいただきましたので、紹介します。

・毎月えがおを見るのを楽しみにしています。

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。